

笑顔と元気あふれる 住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS



議会だより

第164号

題字は岸 信介先生書

2025年(令和7年)1月24日



消防出初式 市中行進(1月5日)

12月定例会	2P
新年のぞあいさつ	3P
11月臨時会	4P
10人の議員が町政を問う	5P
議会だより163号を読んでの感想	15P
視察研修レポート	16P



合併70周年記念



▲携帯で簡単に議会の
ホームページに
アクセスできます

12月定例会

一般会計1億4,099万円増額

予約型定額乗合タクシー「のりーね」実証事業
町有地等整備事業(平田地区排水路整備等)

本会議 (12月12日)

令和6年12月定例会は12月11日から9日間の日程で開かれました。本定例会では町長提出議案の補正予算5件、条例5件、契約1件及びその他2件並びに議員提出議案1件及び陳情2件を審議・審査しました。

また、11日と12日の本会議では、10人の議員が一般質問に登壇しました。なお、記載のQ & A (質疑 & 答弁) は付託した常任委員会のQ & Aも含めて掲載しています。

町長提出議案

補正予算

●一般会計(第5号)

1億4,099万円を増額し、予算総額を79億1,794万円とするもの。

《主な歳入補正》

・分担金及び負担金

462万円増

・国庫支出金

2705万円増

障害者自立支援に係る

介護・訓練等給付費の増

・県支出金

1805万円増

介護・訓練等給付費や

農地中間管理事業費の増

・繰入金

8981万円増

収支調整としての財政基

金繰入金による増

・町債

140万円増

《主な歳出補正》

歳出には山口県人事委

・土木費
831万円増
町道維持管理費における修繕料の増
・教育費
516万円増
・災害復旧費
185万円増

おもな質疑

Q 測量等委託料と町有地等整備工事の150万円は、何のための費用か。

A 光地区消防組合中央消防署出張所の建設に伴い地元平田地区で大雨の時に道路に溜まる雨水を排水する施設をつくるもの。

Q 広告費22万円は、郵便局のATM用封筒に合併70周年記念の広告を入れる費用ということだが、銀行はないか。

A 田布施郵便局からお話をいただき実施。銀行にあるかは、承知していない。

Q 国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計繰出金485万円の中には、人件費の他に何があるのか。

A 主に郵便料金改定に伴うもの。

Q 自立支援医療給付(厚生医療)の280万円の内訳は。

新年のごあいさつ

更なる成長を目指して

新年おめでとうございませう。年頭にあたり皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

さて、今年の干支は、乙巳。更なる成長を目指し力を貯め、努力の成果を試すとき



副議長 内山昌晃

とされています。12年前、刈島にスネークロツクという白蛇をかたどった岩が発見され、見学ツアーが開催される等島が賑わいました。初代地域おこし協力隊が着任した年でもあります。

本年は、どんな賑わいや町づくりが展開されるのでしょうか。町議会も脱皮を繰り返すよう精進してまいります。

安心して暮らせる町づくり



議長 南 一成

新年明けましておめでとございませう。町民の皆様には新春を清々しい気持ちでお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は子育て世代の支援として給食と高校生まで医療費無

償化、高齢者だけでなく全世代が利用できる予約型定額乗合タクシー「のりーね」の実証実験、懸案として県内でも高額な水道料金の解消と中間貯蔵施設の建設があります。本年も議会活動を通じ安心して暮らせる町づくりに励みます。

へび年（私は年男）が皆様にとつて幸多き年となります様ご祈念申し上げます。



消火器（給食センター）

【A】月40万円の7カ月分。
 【Q】児童クラブの会計年度任用職員の報酬が増額になっている。一方、児童クラブ運営費前年度返還金がある。説明を求める。

また、利用人数の増減は。
 【A】報酬は、当初の見込みが少なく不足が出るため補正した。

返還金は、実績ではなく、基準開場日数や補助基準によつて各補助額が確定し、返還が生じた。

利用人数は、それほど増減はない。

【Q】共同調理場消耗品10万円は、消火器10本の使用期限が過ぎて取替える経費ということだが、消火器の使用期限は概ね何年か。
 【A】業務用10年、家庭用5年。

【Q】TAKOスポーツセンターの備品購入費が入札減で213万円減額になっているが、他の体育館に比べ、体を鍛える器具などが少ない。考えて欲しい。

【A】スポーツセンター所長らと協議する。

【Q】人件費の増額には、派遣職員は含まれるか。
 【A】一部事務組合の派遣職員への給与は、人件費ではなく、負担金の中で支払われる。

【特別会計】
 ○国民健康保険（第2号）
 前年度精算とそれに伴う国民健康保険事業基金の調整で、346万円増額し、総額を17億9911万円にするもの。

【Q】歳入の基金繰入金が2200万円減額になったのは、前年度繰越金が2300万円あったため、基金繰入金をそれだけ抑えたということか。
 【A】そのとおり。

○介護保険（第2号）【全員賛成】
 山口県人事委員会勧告に準じて実施する給与改定に伴う人件費の補正で236万円を増額し、総額を

16億5493万円とするもの。

【Q】包括的支援事業・任意事業の任意事業とはどのようなものか。
 【A】地域支援事業の一つで、経済的余裕がない高齢者が成年後見を利用する際に町が補助したり、介護給付の適正化事業等を行う。その他、ケアマネージャーがいない方が住宅改修を行うとすると補助を出す等の事業を行う。

【後期高齢者医療（第1号）】
 ○後期高齢者医療（第1号）
 前年度精算と給与改定に伴う人件費の補正で30万円を増額し、総額を3億8111万円とするもの。

【下水道（第1号）】
 ○下水道（第1号）
 収入で下水道事業債の増額、一般会計からの繰入金で下水道事業収益から資本的収入に組み替え、支出で修繕費の増額及び委託料を工事請負費に組み替えるもの。

収益的支出は297万円を、資本的支出は134万円を増額するもの。

【全員賛成】

条例

○使用料及び手数料条例の一部改正

令和7年1月より、町複写機等利用取扱要綱の改正に伴い、併せて関係条例を整理するもの。

主な内容は、複写機等の白黒の複写料金をA4の場合1枚当たり20円から10円に、カラーの複写料金を1枚当たり100円から50円に改正。

【全員賛成】

○町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正

指定地域密着型サービス事業者、指定地域密着型介護予防サービス事業者、指定居宅介護支援事業者、指定介護予防支援事業者に対する、業務継続計画の策定に関する規定、感染症対策に係る規定及び虐待防止に関する規定を設けるもの。

Q町内の地域密着型サービスを行う事業所には、どのようなものがあるか。

A地域密着型通所介護が4事業所、グループホームが3

事業所、小規模多機能型居宅介護が1事業所。

○田布施町下水道条例の一部改正について

下水道法施行令の一部を改正する政令の公布に伴い、所定の改正及び引用規定の整理を行うもの。

【全員賛成】

○刑法等の一部を改正する法律及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

刑法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、関係条例の整理を行うため条例を制定するもの。

【全員賛成】

○町職員の給与に関する条例の一部改正

県人事委員会勧告により、職員の給与に関する条例の一部を改正するもの。

【全員賛成】

契約

○工事請負契約の締結について（給食センター改修Ⅰ期工事（機械設備））

来年9月から平生町との共同利用としての調理場を稼働するにあたり、田布施町給食センターの機械設備を整備するもので、保健体育施設整備事業債を充当し、厨房機器改修、ボイラ

1改修、調理場の配管改修工事を行うもの。

11月27日に執行した条件付一般競争入札により、落札した牛島電設株式会社と8679万円で契約を締結。

【全員賛成】

その他

○田布施・平生水道企業団の解散に関する平生町との協議について

令和7年4月1日から、柳井地域の全ての水道事業を柳井地域広域水道企業団へ経営統合することに伴い、令和7年3月31日をもって田布施・平生水道企業団を解散することについて、平生町と協議するにあたり、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの。

【全員賛成】

○田布施・平生水道企業団の解散に伴う財産処分に関する平生町との協議について

田布施・平生水道企業団の解散に伴い、財産の処分

を定めることについて、平生町と協議するにあたり、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの。

Q財産にはどのようなものがあるか。

A財産は、土地、建物、構築物、機械及び装置、工具、器具及び備品、車両等となっている。

議員提出議案

○町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正について

【全員賛成】

あなたの要望はこうなりました

陳情

○上関町での「中間貯蔵施設」の建設に反対する決議の採択をお願いする陳情書

【継続審査】

○上関町での「中間貯蔵施設」の建設の反対をお願いする陳情書

【継続審査】

※継続審査となっている陳情は、議員の任期満了とともに、審議未了廃案となります。

・臨時議会・

11月6日

町長提出議案

専決処分

○一般会計補正予算（第4号）

10月15日に公示され10月27日に投票された衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に伴う経費を計上。歳入、歳出それぞれ1371万円を増額し、総額を77億7695万円とするもの。

【全員賛成】

契約

○工事請負契約の締結について（麻里府公民館新築工事（電気設備工事））

麻里府公民館新築工事（建築・機械設備）と一体的に工事を進めるもの。

10月22日に執行した条件付一般競争入札により、落札した城電気工業株式会社と8547万円で契約を締結。

【全員賛成】



12月定例会
一般質問

10人の議員が町政の課題を問う

災害に強い町づくり

準備は万全か

神田 栄治

引き続き取り組む

東 町長



神田 栄治 議員

Q 異常気象が多発。①地域毎個別避難計画は作成済みか②各家庭で防災グッズを揃えているか③避難所に用品、食料等は備えてあるか④避難所運営と被災対応の役割分担はできているか⑤HPに防災コーナーはあるか⑥BCP計画は

作成済みか。⑦移動式トイレと、川の水浄化装置の購入を。

A ①避難行動要支援者台帳は作成済み。今後個別避難計画に関する条例に基づき対応②広報で啓発済み③今年度中備蓄計画を策定予定④自主防災組織等で運営につき協議予定⑤ある。新HPでは災害時トップページ自体が災害モードに切り替わる⑥策定済み⑦防災設備の国の補助対象情報を注視

ホームページ

町の顔として充実を

神田

鋭意改良中

町長

Q ①HPの目的は、住民向けの情報提供か、他県への魅力発信かそれとも両方か②サクサク検索できるか③ワンクリックでトップ画面にもどれないか④コンテンツは充実しているか⑤高齢者も見やすいデザインか⑥定期的な改良を想定しているか。併せて、町のPRを新聞広告でできないか。

A ①他県への情報発信にも注力する②様々な経路でたどり着けるような機能も持たせる③もどれる④新機能を活用して積極的に取り組む⑤従来よりウェブアクセスビリティへの対応として取り組んでおり、引き続き実施する。⑥しかるべき機会にデザイン等の改良を検討。新聞広告は予定なし。

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を聞いたものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。



地域防災計画



ハザードマップ



町HP

地方創生2.0

どう対応するか

内山 昌晃

効果的な施策を検討

東 町長



内山 昌晃 議員

【A】新交付金は詳細が判明し次第、計画を策定。町総合戦略に掲げる事業が対象となる。新設枠があれば効果的な施策を検討。町総合戦略はR7年度が計画最終年であり次期計画策定に向け、町地方創生検討委員会で意見を聴き、パブリックコメントを実施し広く町民の意見を反映したい。

【Q】政府は「新しい地方経済・生活環境創生本部」を開き、「地方創生2.0」の議論を開始、交付金の倍増を掲げた。本町では倍増される予算をどのように活用するか実効性・将来性のある施策が求められる。他市町と違うオンラインワンの妙案は。町民の意見は反映されるか。

地方創生2.0 基本的な考え方

- 1 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- 2 東京1極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散
- 3 付加価値創出型の新しい地方経済の創生
- 4 デジタル・新技術の徹底活用
- 5 「産官学金労言」の連携など国民的な機運の向上

新しい地方経済・生活環境創生本部

カスハラ対策

本町の取り組みは

内 山

対応マニュアルを作成する 町 長

カスハラの定義

- 1 顧客や取引先、施設利用者、その他の利害関係者が行うこと
- 2 社会通念上相当な範囲を超えた言動であること
- 3 労働者の就業環境が害されること

厚生労働省

【Q】顧客等から迷惑行為のハラコメントから労働者を守るため厚労省は企業に対策を義務付ける方針案を示した。3つの定義を満たした上で、企業が講ずべき措置として企業の方針を明確化し、周知啓発を行い、労働者の相談に応じる

体制の整備等が挙げられている。本町の取り組み状況は。

【A】カスハラは社会問題として官民問わず対策強化が急務。1月から職員名札を変更、職員配置案内図を廃止する。職員がハードクレームやカスハラにより問題を抱え込まないよう組織的に毅然として対応する。「町職員のための不当要求行為等対応マニュアル」を作成する。

※お詫びと訂正
議会だより163号に次の誤りがありました。
表「県内の介護保険料」で柳井市の第9期保険料基準額（月額）を4100と記載しておりましたが、正しくは5100です。お詫びして訂正いたします。

空き家対策

地域の資源として活用を

内 山

実態調査の後、段階的に進める 町 長

【Q】視察先の島根県江津市の空き家バンク利用者は305人がUターン者で、人口減少に寄与。登録件数を増やすためには、空き家を地域資源と捉え人口減少や高齢化に危機感をもつ地域コミュニティや人との連携や広報・HPでの情報提供が必要であるとのこと。本町の取り組み状況は。

【A】空き家バンクリフォーム事業助成金は6割以上の物件で実績。空き店舗改修補助金は、事業者から申請あり。専門的相談体制や優良物件の掘り起こしのため、まずは実態調査を行い、物件の設定、所有者への働きかけ、相談窓口の斡旋、情報発信と段階的に進める。



馬島



伊村 渉 議員

魅力ある馬島

田布施川と馬島の 桜の二刀流でPRを

伊村 渉

植栽計画と管理体制を整えて考える

東 町長

Q 馬島の魅力を引き立てる施策として、①桜の苗木を本土側の対岸に植樹すると、春は馬島は勿論、本土側からも素晴らしい桜並木が見る人の心を揺さぶる。今後の取り組みは。②要害山を整備して田布施川の桜と二刀流で馬島をアピールできないか。

A ①緑化推進協議会で苗木の調達は可能だが、桜は免疫力が弱く、病気にかかりやすいので、関係者と植栽に向けた実施体制も含め相談する。②要害山の頂上付近は、雑木伐採を行い東屋もあり休憩場所として利用されるが、登山道の整備が課題である。自然を生かすテーマで考える。

ボランティア活動

中、高校生の積極的参加を

伊 村

「たくまるボランティア」で活動中

鳥枝教育長

Q 麻里府公民館文化展で中学生がボランティアでお手伝いをしていた。①いつ頃からか、高校生を含め多数のボランティア活動は出来ないか。②麻里府文化展で、出品作品が年々減少している。保育園、小学生の作品はあるが、高校生、若者の作品が出来ないか。

A ①中学校では「たくまるボランティア」と称し、年間計画的に展開し、2年目となる。延べ400人超で活動に取り組んでいる。②文化展参加は、公民館単位の実行委員会企画運営について協議、決定されるので、高校生や若者の作品出展がこれまで以上に充実するように依頼したい。



麻里府公民館文化展

人が循環するまちづくり

関係人口の創出と二地域居住を

國本 悦郎

人口増になるかは結果次第 東 町長



國本 悦郎 議員



お試し農業移住体験ツアー

Q ①附属機関等の委員の人选の適正化を②団地の空き家対策と町営住宅の満室化のマッチングは③他の市町に先駆け関係人口の創出と二地域居住を④おいでえを活用した移住者への取組は⑤関係人口の創出から移住に取り組める地域協力隊員を⑥策定した夢プラン実現の進捗状況は。

A ①適正化を各所管に指示し、開かれた町政へ②空き家を移住者へ提供できるような仕組みを今後構築③町に興味を持ってもらい、人口増になるかは結果次第④お試し農業移住体験ツアーを開催⑤他の先進事例を参考にしながら検討⑥役員会で組織作りを市民プロデュースと協議中。

国・地方公共団体等の責務等
国・地方公共団体は、基本理念にのっとり、認知症施策を策定・実施する責務を有する。
国民は、共生社会の実現を推進するために必要な認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解を深め、共生社会の実現に寄与するよう努める。
政府は、認知症施策を実施するため必要な法制上又は財政上の措置その他の措置を講ずる。

共生社会の実現を推進するための認知症基本法（厚労省HPより）

認知症への取組

認知症ケアパスの改訂は

國 本

7年度に見直し策定 町 長

Q ①協議体による支援の拡大とオレンジカフェの全町への展開を②事業所への「認知症バリアフリー宣言」は③職員に認知症関連の研修を課し、災害時におけるマニュアル作りを④前議会後、若年性認知症とMCI理解への取組は⑤認知症ケアパスの改訂は⑥オレンジドクター制度の啓発は。

A ①他地区でも人材発掘等の下地作りを展開中②出来ていなく今後の検討課題③平時の理解促進に係わる啓発と広報以外に、災害時の理解促進も④前者は今後、柳井地域として啓発を進め、後者は認知症や介護等で町民と関わる場で啓発⑤7年度に見直し策定⑥かかりつけ医への受診を推奨。

部活動の地域展開

職員と教員の兼職兼業は

國 本

地域貢献活動として期待 希望者には適切に対応

町 長
鳥枝教育長

Q 今年度から部活動の休日の地域移行を効率的に進めるために、新たに専任者を会計年度職員として採用している。
①運動部活動だけでなく、文化部活動の地域移行の受け皿は②生涯スポーツとしての地域展開の進捗状況は③指導員として参加する役場の職員や教員の兼職兼業は。

A ①運動部の移行は進んでいるが、文化活動の移行は在り方を模索②令和7年度までに、先ず休日の学校部活動を段階的に地域連携や地域移行③職員が職務以外に積極的に地域貢献活動に参加すれば、町民との協働によるまちづくりがより一層活発化、希望する教員には適切に対応。

事業継続計画（BCP）

リスクの多様化で見直しを

松田 規久夫

継続的な改善に取り組む 東 町長



松田 規久夫 議員

さるダウンリカバリシステムを構築し、災害時などの非常事態に備えている。リスク対策の見直しを適宜行い、継続的な改善に取り組む。

Q 柳井エリアは災害が少なく、気候温暖な住みよい地域。しかし、いつ、どこで、どんな被害を受けるか予測できない。地球規模で災害が大型化し、多発している。巨大地震や大型台風など自然災害時、サイバー攻撃に備えるセキュリティ対策、感染症などリスクでBCPの見直しは。

A 町のBCPは非常時優先業務を適切に実施できるよう、必要な事項等を定めている。ネットワークが遮断してもオフラインで証明書等が発行で

改正戸籍法

新制度の受付体制は

松田

国の方針が確定次第周知する
仮名を併記し間違いを防止 町長 鳥枝教育長

Q 戸籍の氏名に、振り仮名の記載を義務付ける改正戸籍法が来月5月に施行される。本籍地の自治体から振り仮名を記した書類が届き、間違っていたら修正を申し出る仕組み。

町の受付体制は。すでに学校は実施中と思うが、名簿に振り仮名を記入し、名前の読み間違いを防ぐ必要がある。

A 国の方針が確定次第、町の広報や回覧、HP等を活用して速やかに周知する。施行日の5月26日以降に「戸籍に記載される振り仮名の通知」を発送する予定で、通常の窓口対応で処理可能。学校の各種帳簿には、振り仮名も併記されており、これを元に読み間違いを防止している。

駅、町営住宅、桜植樹、学び直し
とりあえずやってみよう

松田

協議、検討したい 町長

Q ①JR利用旅行者の利便性向上のため、駅に一番近い職員用一等地に有料コイン駐車を設置を。②町営住宅入居者不在の棟は解体撤去し、空き地を防災対策として確保を。③河津桜を植樹し、早い桜と本番の桜、近隣公園は紅葉、黄葉の二刀流は。④リカレント教育（社会人の学び直し）を。

A ①駅隣接地のJR所有地の整備は、JRと協議、検討したい。②単純撤去は起債を借りても交付税措置がない。次期「長寿命化計画」に向け検討する。

③植樹について、どのような木にするか、専門家の意見を聞き検討する。④職員自らの自己研鑽はあるが、取組は行っていない。



近隣公園



田布施駅舎西側の空き地



田布施図書館
(町ホームページより)



高月 義夫 議員

魅力あるまちづくり

今後の取組は

高月 義夫

安全安心楽しく仲良く

東 町長

Q 4月消滅可能性自治体に指定され、解消のためには、より魅力あるまちづくりに取り組む必要があると感じる。町長の町づくりの未来像は、地域再生には文化の向上は不可欠である。「あの本が手に届くまちづくり」に期待するが、どういう目的で始められるのか伺う。

A 人口減少の中でも、住民が賑やかで安全・安心を感じ、楽しく仲よく暮らす町の光景を作ることが、人口問題や様々な課題の解決に繋がると思うのでそうした未来を目指す。「あの本が手に届くまちづくり」は、本屋のない町に図書館中心に読書文化を醸成し、まちづくりに取組むもの。

環境維持活動

自治会中心からの脱却を

高 月

路線数等見直しを検討 町 長



地域清掃活動 川西

Q 自治会主体で、町内一斉清掃やふれあい・クリーン作戦、班での道普請など多くの清掃活動が行われる。高齢化の進んだ自治会では、自治会主体で行う清掃活動や地域の祭り行事など人材不足も懸念される。町道の清掃は、自治会へ管理費を払い委託されているが、見直しが必要では。

A 地域のコミュニケーションの場である清掃活動や地域の祭り行事などの開催は、住民同士のつながりや、地域力の向上に、大いに役立つものである。自治会への町道管理委託は、今後町直轄区間が増える事が想定されるため、維持管理費の財源の確保や、路線数の見直し等を検討する。

消滅可能性自治体脱却へ

移住定住の促進を

西本 篤史

安全・安心と住みやすさを感じるまちへ

東 町長



西本 篤史 議員

〔A〕高校生までの医療の無償化など、子育て世代への支援を重要施策として、少しでも人口が減少する速度の抑制を図る。移住の促進等、社会増に向けた対策にも取り組む。住民の皆さんが安全・安心と住みやすさを感じていただけるまちづくりを基本として進めていく。

〔Q〕消滅可能性自治体を脱却した自治体に要因をお尋ねすると、学校再編事業、子育て支援事業、移住定住事業に注力している。

子育て支援事業は保育料完全無料化。移住定住事業は、地域協力隊で駅舎を利用し相談室を設け、移住定住相談をしている。本町の取り組みは、



駅舎を利用した移住定住相談所
(福岡県香春町)

深刻な鳥獣被害

捕獲補助金見直しを

西 本

県の計画に即す

町 長

〔Q〕町内で鳥獣被害が出ている捕獲するには、本来は狩猟期(11月から3月)に許可が下りるが、今は被害が多いため特別に狩猟期以外でも許可が下り、有害鳥獣捕獲補助金が出る。市町村で捕獲補助金が違うようで、平生町では年間を通して捕獲補助金が出る。各町連携をとり統一しては。

〔A〕県が策定する鳥獣保護管理事業計画書で、「有害鳥獣捕獲隊による対象鳥獣の捕獲については、その年の狩猟期間の開始日の前日まで」と明記されている。

県の計画に即して捕獲許可期間を設定している。年間を通して捕獲助成金を交付することはしない。

免許返納後の移動手段

特例特定小型原動機付自転車に補助金は

西 本

考えていない

町 長

〔Q〕高齢になり運転免許を返納される方が増えている。来年からは定額乗合タクシー「のりね」の試験運行が始まる。他の移動手段として、シニアカーをよく見かける。今後、「特例特定小型原動機付自転車」の4輪型も発売され、シニアカーに代わると思われる。購入時に補助金を出せないか。

〔A〕特例特定小型原動機付自転車は最高速度が20キロメートルとされている。普通の自転車の平均時速が10から15キロメートルであり、それよりも早い速度で走行するこの車両は、高齢者には危険なものではないかと考える。当該車両に対する補助金の交付等は、現在考えていない。

本町の鳥獣被害対策

電気柵の設置経費の一部補助、県事業として、ほ場整備が実施された農地への金網柵の設置負担金補助、また田布施町有害鳥獣捕獲対策協議会が交付主体となり国の事業を活用して、捕獲隊に捕獲に対する助成を行っている。

捕獲補助金 イノシシ：成獣、幼獣問わず1頭5,000円 サル：30,000円
その他：アナグマなどの鳥獣は2,000円、カラス800円、その他鳥類は400円となっており、イノシシにつきましては、先ほどの国補助金を活用し、成獣7,000円、幼獣1,000円を上乗せして捕獲者に助成。



シルバー人材センター田布施事業所



瀬石 公夫 議員

高齢者の働く場

ニーズに応える対応は

瀬石 公夫

就業機会を後押しする

東 町長

Q 高齢者の就業は、10年前の2・4倍と働く高齢者が増えている。働く理由は、3割が家計に不安を抱えており「収入が欲しい」となっている。高齢者の働く場が必要では。

また、人口減少で、企業等の人材不足が進む中、企業の求める人と、働きたい高齢者のニーズに応える対応は。

A 近年、定年の延長等、取り組みがされている。しかし、働きたい高齢者の意向に、十分に沿うものでなく、就業機会をいかに確保するかが重要となっている。就業機会の幹旋については、ハローワークやシルバー人材センターなど関係機関と現状と課題を共有し、後押しをしていきたい。

相続登記

申請が義務化

瀬 石

3年以内に申請が必要 町 長



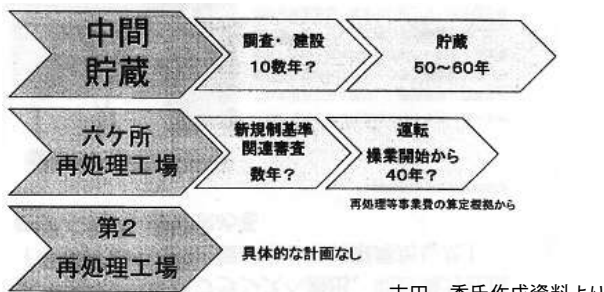
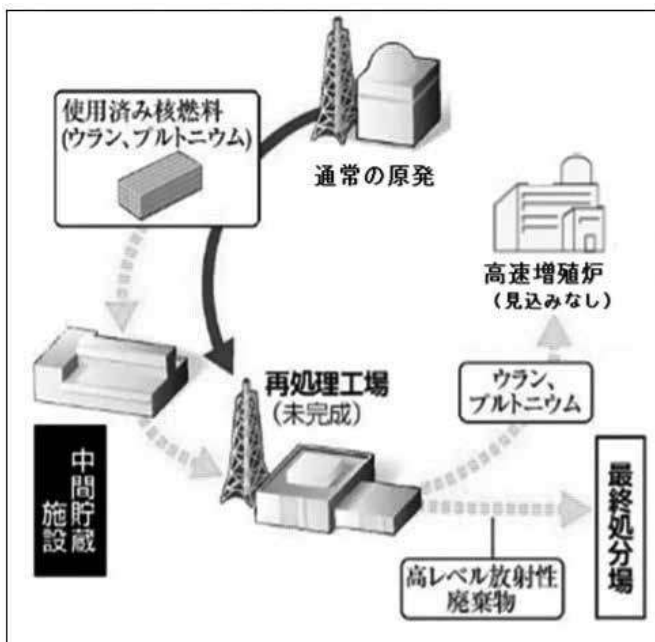
登記申請手続のご案内

Q 令和6年4月1日から法律が改正され、相続登記の申請が義務化された。法律改正前の不動産で相続登記の申請がされていないものは、義務化の対象外か。

また、正当な理由なく相続登記の申請をしない場合、10万円以下の過料を課すとなっているが正当な理由とは。

A 法律改正前の不動産であっても所有権を取得したことを知った日から3年以内に相続登記の申請が必要。

正当な理由なく相続登記をしない場合の「正当な理由」とは。①相続人が極めて多数に上る。②重病等の事情がある。③登記申請の費用を負担する能力が無いなどの場合。



末田一秀氏作成資料より



落合 祥二 議員

非常に重く受け止めた

東 町長

反対の陳情をどう捉えるか

落合 祥二

上関の中間貯蔵施設

Q 町長は当初より「上関の中間貯蔵施設に危惧している」と述べている。
そこで、次について尋ねる。
① 町民の会や町連合婦人会の上関の中間貯蔵施設に反対する陳情書をどう捉えているか。

A ①非常に重く受け止めた。
②不安や今回の中国電力の申し入れが突然であったことなどから、多くの署名になったのではと受け止めた。
③周辺市町と連携して、国や電力会社に対して、地域住民が十分理解できる説明など、住民に寄り添った丁寧な対応を求めている。

② 町民の会が集めた3013の署名を、どう捉えているか。
③ 今後、どう対応するのか。

令和7年
2月3日(月)から

町内
定額

田布施町
のりーね

TAKUZ 田布施町の
の実証実験を
行います!

ご自宅から指定の場所まで運行します!
また、施設から施設の移動もご利用いただけます!

自宅

特定の施設等

役場・病院・銀行
バス乗降地点
スーパー・商店 学校・駅

※周辺の道路状況によっては自宅まで行けない場合があります

※特定の施設以外のご友人の自宅や、よく利用する場所にも移動できます

当日予約もOK! 乗車1時間前まで予約を受け付けています!

ご予約
(変更・取消)は
お電話か
予約専用
サイトで!

予約センター
0820-51-0221

受付 8:30~17:00 (12:00~13:00の間は除く)

※乗車の1時間前までに予約してください
※9:00~10:20の間の利用は前日17:00までに予約が必要です
※利用希望日の前日が土日、祝祭日及び年末年始の場合は直前の平日17:00までの予約となります
※利用希望日の2週間前からご予約できます
※詳細予約時間は、ご利用マニュアルをご参照ください
※ご利用マニュアルは町ホームページからダウンロードできます

月額定額運賃でご利用いただけます!

運賃 (月額定額運賃)	運行日
3,500 円/月 (各月1日~月末まで有効) ●保護者同伴小学生無料 ●乳幼児無料	月~金 9:00~11:30 13:00~15:45 ※土日祭日は12:29~13:44運行しません

1日2回乗車まで。1か月20回乗車まで

初回無料お試し期間も含めて、利用にあたっては
事前に利用者登録が必要です! (詳細は中面)

※定額制の手続きが完了した方には、定額制利用者登録カードを送付します

予約型定額乗合タクシー(のりーね)リーフレット

要望が多いなら変更する

町 長

1日3回乗車ができないか

落 合

乗合タクシー(のりーね)

Q 来年2月から予約型定額乗合タクシー(のりーね)は、実証運行を行い、より良い制度にしていくと聞いている。
そこで、次について尋ねる。
① 実証運行中では、1日2回乗車ではなく、3回乗車ができるようにならないか。
② 高齢者福祉タクシー利用助成制度等を継続できないか。

A ①一人に1日に何回も予約が偏らないようなら、柔軟に対応する。要望が多いなら、1日4回までの乗車が可能となるよう変更していきたい。
しかし、1カ月20回乗車は、運行委託業者との取り決めなので、変更は当面の間予定していない。
② 継続する。



災害用食料備蓄(役場)



河内 賀寿 議員

食料備蓄対策は万全か

河内 賀寿

備蓄品の整備は進めたい

東 町長

南海トラフ地震

Q いずれ南海トラフ地震はくると言われている。本町の対策は万全だろうか。役場や公民館などのレトルト食品や缶詰などの食料備蓄は、1週間分はあるのか。都会ではなく農家も多いため、飢えることにはならないと思うが、災害時の連携など、新しい対策などもあれば問う。

A 南海トラフ地震など大規模広域災害に備えた物資の備蓄及び調達、輸送方法は、国、県及び町の役割分担を踏まえ対応する。厳しい財政状況で財源確保を図り、備蓄品の整備を進めたい。今年度中に「田布施町備蓄計画」策定の予定。民間企業からの物資協力体制もしっかりと確保したい。



芝生化されたグラウンド
(柳井市 ルンビニ第二保育園)

芝生化してみてもいい

河内

学校のグラウンド

難しい

鳥枝教育長

Q 以前にも、プロサッカー選手を目指すのにもいい、足の裏にもいいと、学校のグラウンドを芝生化してみてもいいという質問をした。周辺の市も何箇所も実施済。さて、今年の夏の暑さだが、芝生化だと学校周りの温度も数度は下がり過ぎしやすいか。まずは、1校実施してみてもいい。

A 芝生化は地球温暖化防止や熱中症対策に一定の効果はある。しかし、多くの課題もある。①芝のグラウンド利用の競技が限られている。②長期の芝生の維持管理、散水などの人員確保の問題。③芝生購入や定植に土壌改良工事、機材や資材整備、多額な経費の問題。現時点では芝生化は難しい。

議会だより163号を読んで

◆お礼◆

議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙な中にもかかわらず、毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。



◇町民が増えますように

松宮 和子

議会だよりを読んで、田布施町の介護保険料がとても安いと知り、驚きました。一人当たりの介護費用が少なくというところで、田布施のお年寄りの元気に感謝です。

もう一つ驚いたことは、緑化推進が人口増加につながるというところ。公園や街並みの緑化によって住みたくなくなるような景観を作り、転入者が増えたら消滅可能性の危機から脱却できるかも。維持管理が大変でしょうけど期待します。

年収による負担率についての質問から、子どもを持つている友人を見てうらやましく思っている、自分もそうなりたいたいというような社会であってほしいということに共感しました。モデルケースでは給与の手取りが減っているとのこと。子育て世帯への支援を今以上にお願いたいです。よそから引っ越してきて、子育てしたくなるような町になりますように。

◇議会だよりを読んで

高瀬 しづえ

議会だよりは、昭和59年7月創刊より40年が経過との事。広報委員、関係各位のご尽力に深く敬意を表する処です。

さて、表紙のモノクロ写真はなぜか郷愁に駆られ、幼い頃の田園風景を思い起こさせてくれました。次に、令和5年度決算概要で、後期高齢者医療の数字が気掛かりです。団塊世代の大半の方が該当されている今、介護問題と共に考慮の余地があるのではないのでしょうか？そして、私見ですが、

環境問題、特にプラスチックごみの不法投棄は、海洋汚染や気候変動、人体への悪影響等さまざまな被害をもたらしています。行政に頼るだけでなく、一町民としてできることから始めていければなと思っています。最後の議員リレー随筆の四方山話等？は興味津々、毎号楽しみにしております。

ともあれ久しぶりに、充実した内容の全18頁完読させていただきました。

◇災害に備える

大内 清美

今回の議会だよりを読んで、まず興味を持った内容は、レスキューホテルについての質疑である。素朴な疑問として、まず災害が起きてから岩国より持ってくるのは、確実に可能なのだろうか？という事だ。

最近頻繁に起こっている地震は、いつ何時に起こるか予測がつかない。幸いこの辺りは今まで大きな災害もなく、比較的安心して住める場所だという安心感があつたのだが、だからといってこの先も安全かどうかは誰にも分からないと思う。特に高齢の方が多いこの町では、すぐに対処できる環境を作っておく事が大切だと思う。

そういった事をふまえて、レスキューホテルも遠方ではなく、できれば町内にストックし、更には普段から何かに利用できれば良いのではなかった。何事も備えあれば憂いなし。先々を読んだ行動をすすめる事が大事なのではないか。

◇田布施大好き

藤田 裕子

議会だよりを読んで

①必ず来ると言われている大きな地震と津波から命を守る為には、この辺でどこが高く避難場所に適しているのか等家族で話し合いました。

②卒業した学校が無くなるのは寂しいものです。子どもの数が減っているのを実感します。

③田布施が大好きです。人生百年を支える対策を考え、行政、民間、住民が一体となって取り組まなければいけないと思います。

その一つとして、現在の田布施地域交流館はとても良いと思います。今より更に観光客を呼ぶとか、色々なアイデアを皆で考えて盛り上げていったら、更に活気づくと思います。

④広報研修会に参加された議員さん、色々勉強して下さいありがとうございます。それを今後の広報づくりに生かして、より一層町民の声を反映してほしい広報作りをして頂きたいと思っています。

◇議会だよりを読んで

田中 達夫

今回気になったことは、「読まれる議会だより」の作成の研修会に東京まで参加されたこととありました。努力されている様子がわかりました。

広報誌で全国一位を連続受賞しているという寄居町議会の議会だよりをネットで検索し、読んでみました。議会だよりと広報が一緒になっているような作りでうまくまとめているように思いました。町民のアンケートや写真で見易く読み易く、町民の声をそのまま載せてあり、活気ある感じを受けました。

しかし、これを作るのは大変だと感じました。お隣、柳井市の議会だよりも読んでみましたが、こちらの方が参考になるのではないかと思います。文字が大きくならないでぐっと読み易くなると思います。出来ることから徐々に取り入れて頂きたいです。大変だとは思いますが、より読み易い議会だよりのこれからに期待しています。

経済厚生

10月29・30日に
島根県大田市井田・江津市を視察しました。



江津市(10月30日)

大田市井田では、地域公共交通の運行状況等について研修しました。

井田地区の公共交通は、大田市直営バス1路線のみという状況で、高齢化による過疎化が進んだため、いきいきプロジェクトを令和元年9月に始動。その中の組織である井田いきいきタクシー運営協議会で、オンデマンドスタイルの定額タクシーを運行されています。

人口規模や実施主体、手法等の違いがあり、一概に比較はできませんが、田布施町で運行予定の予約型定額乗合タクシー「のりーね」の参考になる点が多くありました。

江津市では、空き家を活用した移住・定住対策について研修し、空き家対策事業として、空き家バンク制度の創設から運営までの説明を受けました。

1990年代から田舎暮らし体験ツアー等を実施、2006年～2007年度にかけて島根大学と共同で空き家の実態調査を行うなど、長年による取り組みにより、空き家を活用した移住施策で多大な成果を上げておられます。

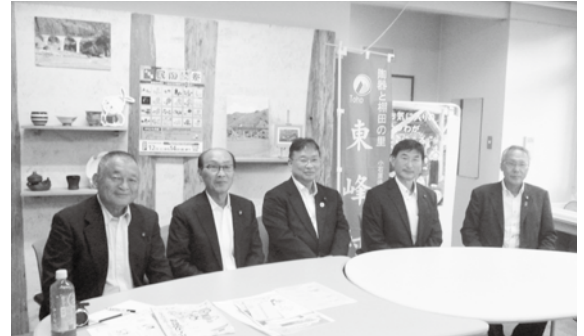
江津市の空き家を活用した移住施策を参考に、田布施町にあった手法を模索し、町内宅建業者、不動産業者等の推進体制を構築していく必要があると感じました。



井田いきいきタクシー運営協議会での研修
(10月29日)

総務文教

10月21・22日に
福岡県東峰村・香春町を視察しました。



東峰村(10月21日)

東峰村では、光ケーブル整備事業の経緯と東峰テレビの住民ディレクターが創るテレビ等の企画立案について研修しました。

東峰村では元熊本県民テレビを退社された方が中心となり、住民と共に地域の情報を発信しています。光ケーブルでの情報通信インフラ整備により、村独自のコミュニティチャンネルを設け、暮らしに大切な情報や地域情報を発信する番組づくりを目指すため、住民自らが企画・作成する「住民ディレクター」の育成を行ってこれられました。

この取組を参考に、田布施町の情報をより多く発信できる手法を検討してみたいと思います。

香春町では、消滅可能性自治体から脱却できた理由及び取組について伺い、移住・交流の拠点となっている採銅所駅舎を見学しました。

香春町は10年前に消滅可能性自治体になりましたが、今回は見事脱却されました。脱却出来た理由として、町単独で実施できる学校再編事業、子育て支援事業、移住定住事業等に注力してきたということで、自然増(出生)に繋がる子育て世代の転出を抑制し、転入を増加させることに重きを置いた施策が効果的だったのではと話されました。

田布施町の出生数も減っていることから、このような施策を参考に取り組む必要があると感じました。



移住・交流の拠点となっている香春町の
採銅所駅舎(10月22日)



10月25日(金)、上関町で開催された、熊毛郡町議会議員合同研修大会に参加しました。研修内容は「安心で希望と活力に満ちた山口県の実現に向けて」で、やまぐち県政出前トークを利用し、講師は、山口県総合企画部政策企画課の藤谷昭氏でした。県の人口減少の克服に向けて、少子化対策、社会減対策、持続可能な地域社会の形成について講義をされました。人口減少対策は、喫緊かつ重要な課題であることから参加者全員熱心に話を聴いていました。

熊毛郡町議会議員 合同研修大会

議員の活動報告(10月～12月)

10月3日 令和6年第2回熊南総合事務組合議会
(谷村・瀬石・高月)

5日 光市新市誕生二十周年記念式典(伊村)

10日 令和6年度柳井地区広域市町議会議長会
臨時総会(南議長)

21日～22日 総務文教委員会視察研修
(西本・高月・瀬石・國本・南)

25日 熊毛郡町議会議長会 議員合同研修会
(南・内山・谷村・西本・松田・
國本・伊村・落合・高月)

29日～30日 経済厚生委員会視察研修
(伊村・内山・落合・松田)

11月7日 県議議会 11月定例会(南議長)

8日 令和6年第4回光地区消防組合
議会定例会(西本)

12日～13日 第68回町村議会議長全国大会外
(南議長)

18日～19日 第42回離島振興市町村議会議長
全国大会外(南議長)

23日 令和6年度田布施町人権教育推進大会
(南議長)

12月8日 第60回田布施町内駅伝競走大会
(南議長)

15日 田布施町心身障害児(者)父母の会
クリスマスの集い(南議長)

24日 令和6年柳井地域広域水道企業団
議会第2回定例会(落合)

25日 田布施・平生水道企業団議会定例会
(國本・落合・内山)

3月定例会の日程(予定)

10日	本会議(初日)
11日	本会議(2日目)
12日	予算審査特別委員会
14日	経済厚生委員会
18日	総務文教委員会
21日	本会議(最終日)

※いずれも午前9時から。
一般質問は10日、11日に行う予定です。定例会の正式な日程は、3月4日の議会運営委員会で決定されます。日程の変更は、町HPでお知らせします。

【問合せ先】

議会事務局 ☎52-5800



議会広報委員会委員

このメンバーでの編集は本号で終わりです。
2年間大変お世話になりました。

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

議会を傍聴してみませんか

議員リレー随筆

真理きわむる道はるか



高月 義夫

議会広報に携わり4年。町の風景を見る目もすっかり変わった。どの風景場面も、これは議会だよりの「表紙」になるのか(笑)。そんな4年間。しかし、多くの議会モニターさんの期待に応える紙

面にはほど遠いと感じ、後悔ばかり残る。次のチャンスがあれば、もっとあしたいこうしたいと、夢が広がる。そんな時、ふと口ずさむ田布施中学校校歌。

「聞け熊毛野をうるおしてたゆまぬ流れささやくを真理きわむる道はるか蘇鉄の若芽たくましく伸びゆけ田布施中学校」

初心に戻る大切な歌。校舎は変われど、学び舎の仲間や中庭の美しさは心の中に鮮やかに蘇る。

帰って来たホタル



瀬石 公夫

毎年、5月下旬からホタルの季節を迎え各地でホタルまつりが開催される。

最近、我が家の前の小川にホタルが帰って来た。不思議に思い、ネットで調べると「幼虫は4月上

旬に水温が上がってくると、河原へ上陸して土にもぐりふ化する・・・」と載っていた。

地域で、以前は3月に川浚えを行っていたが、浚渫土の捨て場がなくなり、5月の町内一斉清掃の日に行なうようにした。ホタルが増えたのは幼虫を小川から取り除かなくなったためだと、何となく腑に落ちた。

昨年は、ホタルが乱舞だったのでSNSで紹介したら、皆さん来られ、初夏の夜を楽しんでいた。

発見! クイズたぶせ?

三択クイズです。2問お答えください。

問1

令和7年、田布施町は

合併何周年を迎えるでしょうか。



① 50周年

② 60周年

③ 70周年

問2

予約型定額乗合タクシーの名称はなんでしょうか。

① のつてーね

② のりーね

③ のつてみーね



ヒント

答えは、議会だよりの中に書かれていますよ。探してみてください!

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。

●宛先 〒742-1592

山口県熊毛郡田布施町

大字下田布施3440-1

田布施町議会事務局 宛

●応募締め切り 令和7年2月28日(金)

●Eメールからご応募できます

gikaijimukyoku@town.tabuse.

yamaguchi.jp

正解の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお送りします。

なお、正解者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

※前号の正解は

問1 ① 23・1%

問2 ② 近隣公園でした。

編集後記

伝統ある議会だよりには、先輩方が苦労して完成させた編集のノウハウがあります。定例会が終わってから発行まで、短期間での編集には欠かせません。

内容の一語一句を担当者が読み上げ、校正をする作業は昔ながらです。本号でも、長時間修正点について議論が飛び交いました。近い将来、AIがレイアウトをする時代が来るかもしれません。このメンバーでの編集は本号で最後になります。新メンバーがどんな編集をするのかは、次回のお楽しみです。

(河内)

議会広報委員会
委員長 高月 義夫
副委員長 河内 賀寿
委員 谷村 善彦
委員 國本 悦郎
委員 内山 昌晃
委員 落合 祥二

